

床衝撃音実験棟完成のご案内

筑波工場内に床衝撃音実験棟(JIS1440試験装置に準拠)が完成いたしましたのでご案内申し上げます。主力製品であるネダフォームの遮音性能の向上や遮音性能を付与した発泡スチロールを用いた建材の製品開発を迅速に進めるために建設致しました。

開発した製品を自社内で評価出来る施設が完成したことで、お客様のニーズに合わせた製品の開発スピードが格段にアップすると確信しております。

当社は本設備を唯一所有している発泡スチロールの加工メーカーです。

当設備にご興味のある方の見学も受け付けております。

詳細については本社開発部までお問い合わせください。



(全景)



(集音室)



(バングマシン)

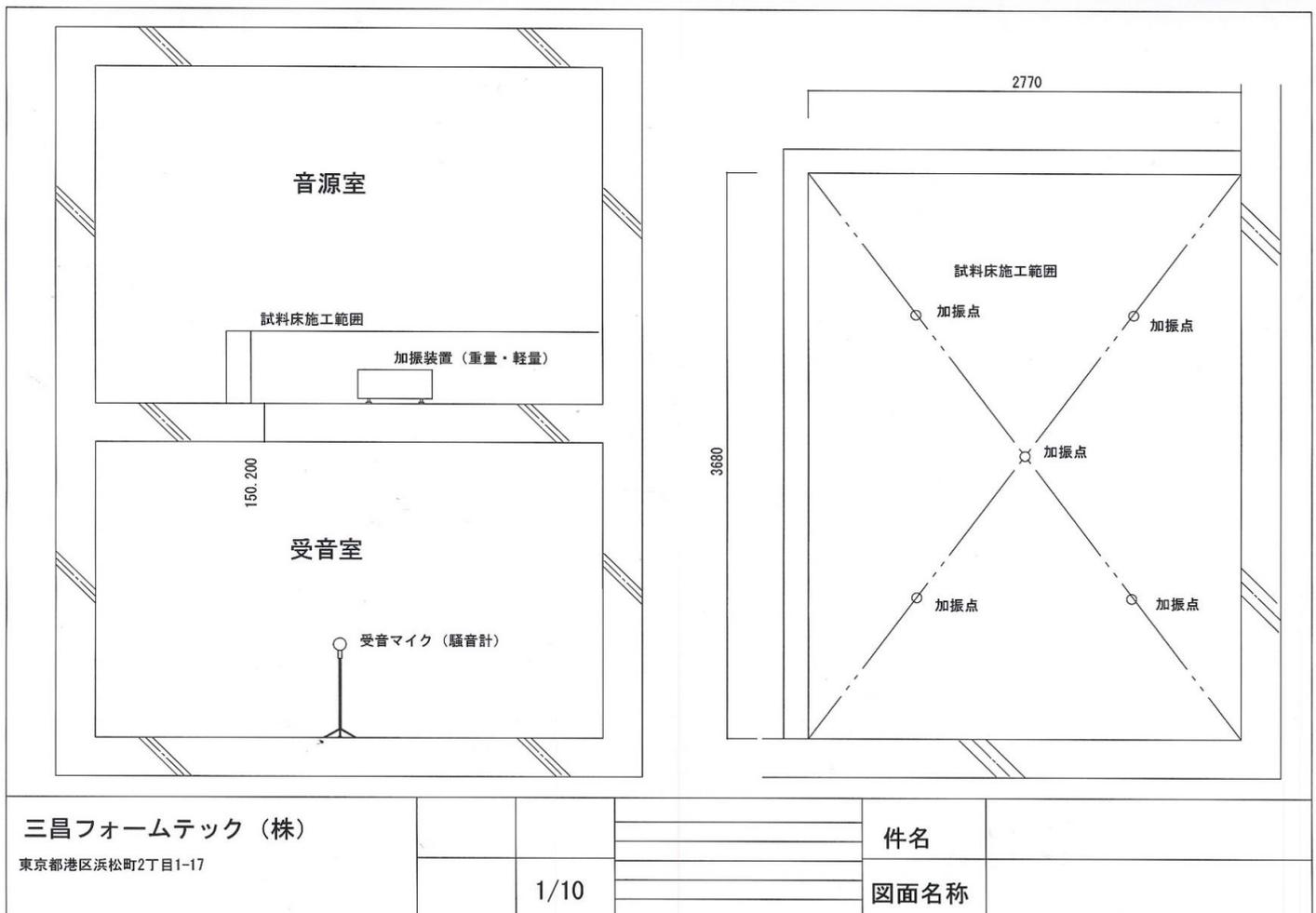


(タッピングマシン)

試験施設 : 床衝撃音実験棟(鉄筋コンクリート造 壁式構造) 150mm 200mmスラブ
 試料寸法 : 2.7m×3.6m
 加振装置 : タッピングマシン(軽量床衝撃音) バングマシン・ゴムボール(重量床衝撃音)

(立面図)

(平面図)



床衝撃音遮断性能とは

上階から下階に伝わる人の歩行や物の落下による床衝撃音の伝わりにくさを表すものを「床衝撃音遮断性能」といいます。

床衝撃音は子供の飛び跳ねなどを想定した重量床衝撃音と、スプーンなどの軽量物の落下衝撃音である軽量床衝撃音があり、集合住宅や文教施設(学校)など様々な用途の建物で床衝撃音遮断性能の向上が求められております。

詳細につきましては下記までお問い合わせください。

本社 開発部